

教授

荒木 剛

■ 学歴

1. 2021 年 久留米大学大学院 比較文化研究科 後期博士課程 修了

■ 学位

1. 2021 年 博士（保健福祉学）

■ 研究分野

1. 高齢者福祉
2. ソーシャルワーク
3. 実習教育（社会福祉士養成課程）

■ 研究キーワード

1. 地域包括支援センター
2. 地域を基盤としたソーシャルワーク
3. ソーシャルワーク実習

■ 研究課題

1. 高齢者福祉領域における地域を基盤としたソーシャルワークのあり方を検討する。
2. 社会福祉士養成課程における実習教育のあり方を検討する。

■ 担当授業科目

1. 福祉入門（1 年前期）必修
2. 基礎実習（1 年通年）選択
3. 高齢者福祉（2 年前期）必修
4. ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（2 年通年）選択
5. ソーシャルワーク実習Ⅰ（2 年後期）選択
6. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（2 年前期）選択
7. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（2 年後期）選択
8. 高齢者支援学Ⅰ（2 年前期）（保健福祉学部）選択
9. 社会福祉の原理と政策Ⅰ（3 年前期）必修
10. 社会福祉の原理と政策Ⅱ（3 年後期）必修
11. ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（3 年通年）選択
12. ソーシャルワーク実習Ⅱ（3 年通年）選択
13. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（3 年前期）選択
14. ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ（3 年後期）選択
15. 専門研究Ⅱ（4 年通年）必修

■ 授業を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【福祉入門】 本科目は、福祉基礎科目に位置づけられ、さまざまな社会福祉の実践現場を学び、今後の学習や実習への動機づけを行うことを目的としている。講義では、学生が社会に生じる福祉課題の現状とその背景を理解すると共に、対人援助職の魅力とやりがいを具体的にイメージできるよう工夫した。また、教授内容の検討や外部講師との日程調整など、授業全体の運営を担った。
2.	授業科目名【基礎実習】 本科目は、福祉基礎科目に位置づけられ、学生が対人援助のフィールドで体験型学習（100 時間）を行うものである。講義は学生を 2 グループに分け、担当制により実施した。実習前には、自己学習により実習先や利用者の特性について理解を深めさせ、実習への準備性と動機が高まるよう工夫した。実習後には、個別面接や実習報告会を行い、実習体験からの学びや気づきを深めさせた。
3.	授業科目名【高齢者福祉】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられている。講義では、單元ごとに教科書の内容を踏まえたレジュメを作成し、学生の内容理解を助けた。また、高齢者福祉に関する最新の情報提供にも努めた。毎回の講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努め、理解が不十分と判断された内容については、次の授業時に再度解説を行った。
4.	授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅰ】 本科目は、社会福祉士の指定科目であり、ソーシャルワーク実習Ⅰの事前・実習中・事後指導を主な内容としている。高齢者福祉と地域福祉領域を担当し、実習前指導では、自己学習やグループ学習、DVD 等の視覚教材により、実習現場で必要となる知識・支援技術の習得に努めた。また、実習計画書、個人紹介票、誓約書などの作成指導を通して、実習への準備性と動機を高めさせた。実習後指導では、個別面談、自己評価、実習報告会の実施により、実習体験の学び・気づきを深めさせた。
5.	授業科目名【ソーシャルワーク実習Ⅰ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられ、福祉施設・事業所等において学外実習（60 時間）を行うものである。高齢者福祉と地域福祉領域を担当し、実習先との日程調整や実習プログラムの確認等を行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、学生個々の状況について実習指導者と情報を共有し、各人が円滑かつ適切に実習に取り組めるよう配慮した。
6.	授業科目名【ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられている。講義では、ソーシャルワーカーとしての基本的視点や姿勢、ソーシャルワークの支援過程について教授した。また、支援事例を用いてケアマネジメントの手法や権利擁護のアプローチを実践的に理解・習得できるよう工夫した。 ※ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、4 グループのローテーションによる授業展開となっており、各科目の教授内容・方法は同じとなっている。
7.	授業科目名【ソーシャルワーク演習（専門）Ⅳ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられており、地域福祉の基盤整備に関わる実践について教授するものである。講義では、調べ学習、グループ学習、事例検討などを用いて、地域特性や課題の理解、地域づくりに必要なソーシャルワークの知識・技術の習得に努めた。また、実習後の講義では、各人の実習体験の共有を行うとともに、それらを一般化し、ソーシャルワークの視点から知識・技術として習得できるよう指導した。

8.	授業科目名【高齢者支援学Ⅰ】 本科目は、保健福祉学部３学科による合同講義であり、アクティブ高齢者への支援について講義（３回）とPBL（５回）を通して教授するものである。講義では、高齢者福祉制度（主に介護保険制度）について解説し、他学科の学生も理解が深まるよう説明の内容や方法、配布資料を工夫した。また、PBLにおいては、３学科の学生が多職種連携の視点から議論を深められるよう助言を行った。
9.	授業科目名【社会福祉の原理と政策Ⅰ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられ、現代の社会状況や社会福祉の史的展開が主な内容となっている。学生にとってはやや難易度が高い科目であり、講義では内容理解を助けるためのレジュメの作成や図解を用いるなどの工夫を行った。また、毎回の講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めるとともに、理解が不十分と判断された内容については、次の授業時に再度解説を行った。
10.	授業科目名【社会福祉の原理と政策Ⅱ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられ、社会福祉の理論や政策論が主な内容となっている。学生にとってはやや難易度が高い科目であり、講義では内容理解を助けるためのレジュメの作成や図解を用いるなどの工夫を行った。また、毎回の講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めるとともに、理解が不十分と判断された内容については、次の授業時に再度解説を行った。
11.	授業科目名【ソーシャルワーク実習指導Ⅱ】 本科目は、社会福祉士の指定科目であり、ソーシャルワーク実習Ⅱの事前・実習中・事後指導を主な内容としている。高齢者福祉と地域福祉領域を担当し、実習前指導では、自己学習やグループ学習、DVD等の視覚教材により、実習現場で必要となる知識・支援技術の習得に努めた。また、実習計画書、個人紹介票、誓約書などの作成指導を通して、実習への準備性と動機を高めた。実習後指導では、個別面談、自己評価、実習報告会の実施により、実習体験の学び・気づきを深めさせた。
12.	授業科目名【ソーシャルワーク実習Ⅱ】 本科目は、社会福祉士の指定科目に位置づけられており、福祉施設・事業所等において学外実習（180時間）を行うものである。高齢者福祉と地域福祉領域を担当し、実習先との日程調整や実習プログラムの確認等を行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、学生個々の状況について実習指導者と情報を共有し、各人が円滑かつ適切に実習に取り組めるよう配慮した。
13.	授業科目名【専門研究Ⅱ】 本科目では、学生自身が研究課題を設定し、レポートの作成に取り組んだ。学生指導においては、継続的・意欲的に学習できるよう動機づけと進捗状況に合わせた助言や情報提供を心がけた。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1998年４月～現在に至る	日本社会福祉士会	
2.	2002年３月～現在に至る	日本社会福祉学会	
3.	2007年３月～現在に至る	日本地域福祉学会	
4.	2007年３月～現在に至る	日本介護福祉学会	
5.	2008年１月～現在に至る	日本ケアマネジメント学会	

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

（1） 共 同 研 究				
	研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.	小地域における住民主体による地域福祉推進のガバナンスに関する研究－地域づくりの参加と協働の場に焦点を当てて－	保健福祉学部附属研究所	○荒木剛 （村山浩一郎）	215,000
2.				
3.				
（2） 個 人 研 究				
	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 （単位：円）	備 考
1.				
2.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2009 年 4 月～現在に至る	北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター運用委員会	委員
2.	2018 年 4 月～現在に至る	北九州市社会福祉協議会 総合企画委員会	委員
3.	2017 年 4 月～現在に至る	社会福祉法人兼恵園 評議員会	評議員
4.	2021 年 6 月～現在に至る	社会福祉法人北九州市福祉事業団 評議員会	評議員

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2021 年 4 月～現在に至る	入試会議	
2.	2021 年 4 月～現在に至る	地域連携室	室長
3.	2024 年 4 月～現在に至る	福祉学科	学科長